

日本共産党議員団視察報告書

1 視察先・目的

長野県松本市

(1) 健康寿命延伸都市づくりについて

(2) 高齢者福祉政策推進について

2 期日

平成28年1月20日

視察報告書

日 時	平成28年1月20日
視 察 先	長野県松本市
視 察 項 目	(1) 健康寿命延伸都市づくりについて (2) 高齢者福祉政策推進について
視 察 者	日本共産党議員団（久野たき、中平 猛）
視 察 内 容	<p>(1) 健康寿命延伸都市づくりについて</p> <p>松本市は、超少子高齢型人口減少社会の到来に対応していくことの必要性をいち早く感じ、命の質や人生の質を高める転換の時代、量から質への発想の転換を目指し、松本市総合計画策定市民会議での答申を得て、健康寿命延伸都市・松本の創造の理念を根幹とした総合計画の策定を行った。そして、市民協働によりまちづくりを進めていくこととし、平成25年3月に健康寿命延伸都市を宣言した。</p> <p>事業内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ア こどもの生活習慣改善事業 イ 働き盛りの生活習慣病予防事業 ウ 身体活動維持向上事業（体力健診事業） エ 食育推進事業 オ 企業との連携 <p>(2) 高齢者福祉政策推進について</p> <p>誰もが住み慣れた家・地域で安心して暮らし続けることができる仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域包括ケア協議会の設置 イ 市民啓発講演会の開催 ウ 地域ケア会議の開催
所 感	<p>外科医という経歴を持つ人をトップに持つ松本市は、少子・高齢社会に対する松本市をどうつくるかというテーマに対し、健康、そして、その中心的な考え方は予防医学であるというはっきりした方向性を持っている。</p> <p>市民の健康を守り、元気で暮らせることで、高齢社会に対応でき、ひいては住んでよかったというまちにつながる。</p> <p>具体的な取り組みも細やかにされており、縦割り行政はダメという市長の考えで、庁内が縦横に連携を取りながら進めている。また、職員のやる気を感じた。</p>